計画の名称 8 適切な道路施設の保全と安全安心な道路環境を確保する道づくり(防災・安全)												
計画の期間 平24年度 ~ 平28年度 (5年間) 交付対象	今治市											
計画の目標 災害に強い道づくりを目指して、橋梁やトンネル及び附属施設の点検と補修を行い、災害時でも強い道路のネットワークの確保を行うとともに、安全安心な道づくりを目指して、歩行者や自転車の交通ネットワーク の確保を行う。												
計画の成果目標(定量的指標)												
・歩行者や自転車の安全安心の確保を必要とする道路を全て整備済みとする。 ・橋梁点検(857橋)、トンネル点検(4本)、道路付属施設点検(1424基(横断歩道橋3基、道路標識94基、道路照明灯1327基))により抽出された要補修道路施設を全て対策済みとする。												
定量的指標の定義及び算定式			内指標の現況値及び	備考								
		当初現況値	中間目標値	最終目標値	E. HI							
比仁·基 白起 古 之 。 〕 口		(H24当初)	(H26末)	(H28末)	・今治市定住自立圏共生ビジョンに							
歩行者、自転車ネットワーク整備率 (整備率) = (整備済延長) / (要整備延長)		0.00%	90. 14%	100.00%	基づき実施される要素事業 : A1-6, A1-9, A1-10, A1-11, A1-12, A1-							
対策済橋梁(2m-5m)数の増加 (対策済橋梁率) = (対策済橋梁数) / (要対策橋梁数)		0.00%		100.00%	13, A1-19, A1-20, A1-21							
対策済トンネル数の増加 (対策済トンネル率) = (対策済トンネル数) / (要対策トンネル数)		0.00%		100.00%								
対策済道路付属施設数の増加 (対策済道路付属施設率) = (対策済道路付属施設数) / (要対策道路付属施設数)		0.00%		100.00%								
市道 (1,2級市道を除く) の改良率の増加 (市道の改良率) = (改良済延長) / (全体延長)		62. 07% 62. 11%		62. 12%								
全体事業費 合計 (A+B+C+D) 1,695 百万円 A 1,573 百万円 B 0 百万円	C 122 百万円	D 0		Ⅰ 効果促進事業費の害 /(A+B+C+〕	1 2%							
事後評価												
○事後評価の実施体制、実施時期												
□ 事後評価の実施体制 事後評価の実施時期 事後評価の実施時期												
平成計画が実施や問 平成30年3月												
今治市社会資本総合整備計画等評価委員会による評価												

	路事業																
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	道路 省	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名		事業実	施期間(施期間 (年度)			個別施設計画	備考
	種別	種別	対象	間接	于木石	種別 工		(延長・面積等)	111614141	H24	H25	H26	H27	H28	(百万円)	策定状況	Ш
1	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 改	東 大野鹿ノ子線	現道拡幅 L=0.35km	今治市						38	ı	
2	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 改	東 今治駅高橋線 高橋工区	自歩道整備 L=0.50km	今治市						101	-	
3	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 交	安 今治駅天保山線	自歩道整備 L=0.90km	今治市						0	-	
4	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 交	安 今治駅北浜町線	バリアフリー整備 L=0.32km	今治市						108	-	
5	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 交	安 恵美須鯉池町線	バリアフリー整備 L=0.15km	今治市						40	-	
6	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 改	東 大浜糸山線 第1工区	現道拡幅 L=0.58km	今治市						26	-	
7	街路	一般	今治市	直接	_	S街路 改	· 学校線	現道拡幅 L=0.39km	今治市						132	-	
3	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 修	善自転車利用環境整備事業	ブルーライン L=3.5km	今治市						9	-	
9	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 修	善橋梁 (5m以上) 修繕事業	橋梁修繕	今治市						490	策定済	
10	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 修	善橋梁(2m-5m)補修事業	橋梁修繕	今治市						156	未策定	
11	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 修	善トンネル補修事業	トンネル修繕	今治市						19	未策定	
12	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 修	善附属施設補修事業	附属物修繕	今治市	Ì					70	未策定	
13	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 修	善橋梁長寿命化修繕計画策定	修繕計画策定委託	今治市						98	策定済	
14	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 修	**	点検及び補修要綱策定業務	今治市						49	-	
15	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 改	per	バイパス L=0.76km	今治市					+	34	-	
16	街路	一般	今治市	直接	_	S街路 改		現道拡幅 L=0.40km	今治市					+	12	-	
17	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 改	14 111111111111111111111111111111111111	バイパス L=0.16km	今治市						0	-	
18	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 改		現道拡幅 L=0.10km	今治市						12		
19	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道 改		バリアフリー整備 L=0.65km	今治市						8	-	
20	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道修		橋梁更新	今治市					1	162	策定済	
	道路				+										t		
			\Rightarrow $=$ $=$ $=$	IH 477	_		· 【傷字	橋空	学治田						9		
41	坦岭	一般	今治市	直接	_	市町村道 修	善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善	橋梁耐震補強	今治市		小計	· <i>(</i>	(業)	1	1 573	界上街	
				旦佞	_	市町村垣 1修	晋	備 案 耐 展 相 独			小計	(道路事	(業)		1, 573	東 上街	
関連	社会資本	整備事業	4.60					,					,,,,		1, 573		老
関連				直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	備楽町農棚独 事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	H24		· (道路事 施期間 (H26	,,,,	H28		備	考
関連	社会資本事業	整備事業地域	交付	直接		省略		事業内容	市町村名	H24	事業実	施期間((年度)	H28	1,573 全体事業費		考
関連	社会資本事業	整備事業地域	交付	直接		省略		事業内容	市町村名	H24	事業実	施期間((年度)	H28	1,573 全体事業費		考
関連	社会資本 事業 種別	整備事業地域種別	交付 対象	直接間接	事業者	省略工種		事業内容	市町村名	H24	事業実	施期間(H26	(年度)	H28	1,573 全体事業費		
関連	社会資本 事業 種別	整備事業地域種別	交付	直接間接	事業者	省略工種		事業内容	市町村名	H24	事業実	施期間(H26	(年度)	H28	1,573 全体事業費	備	
子号	社会資本 事業 種別 一体的に	整備事業 地域 種別 実施する	交付 対象	直接間接	事業者	省略工種		事業内容	市町村名	H24	事業実	施期間(H26	(年度)	H28	1,573 全体事業費	備	
関連 号 効果	社会資本 事業 種別 一体的に	整備事業 地域 種別 実施する	を 交付 対象 3ことによ	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長·面積等)	市町村名港湾・地区名	H24	事業実 H25	施期間 (H26 合計	(年度) H27	H28	1,573 全体事業費 (百万円)	備	考
関連 号 効果	社会資本 事業 種別 一体的に に に で の で で の で の で の で の の の の の の の	整備事業地域 種別 実施する 地域	を 交付 対象 5ことによ	直接 間接 り期待さ	事業者	省略工種		事業内容	市町村名		事業実 H25	施期間 (H26 合計 合計	(年度) H27 (年度)		1,573 全体事業費	備	考
関連 号 効 号	社会資本 事業 種別 一体的に	整備事業地域 種別 生実施する 地域 種別	交付 対象 5ことによ 交付 対象	直接間接の期待では、対象を表現して、対象をままして、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象をままして、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象をままして、ままして、対象を表現るものでは、ままして、対象を表現るものでは、ままして、ままして、ままして、ままして、ままして、ままして、ままして、ままし	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等) 事業内容	市町村名港湾・地区名	H24	事業実 H25	施期間 (H26 合計 合計	(年度) H27		1,573 全体事業費 (百万円)	備	考
関連 号 効果	正社会資本 事業 種別 一体的に 一体的に 事業 種別	整備事業 地域 種別 実施する 地域 種別 一般	を 交付 対象 5 ことによ 交付 対象 今治市	直接接り期待。直接接接直接	事業者	省略工種	要素となる事業名 要素となる事業名 要素となる事業名 : 橋梁長寿命化修繕計画策定	事業内容 (延長·面積等)	市町村名 港湾・地区名 市町村名		事業実 H25	施期間 (H26 合計 合計	(年度) H27 (年度)		1,573 全体事業費 (百万円) 全体事業費 (百万円)	備	考
関連 号 効果	社会資本 事業 種別 一体的に 促進事業 種別 計画・調査 計画・調査	整備事業 地域 種別 - 実施する 地域 種別 - 般 - 般	を 交付 対象 5ことによ 交付 対象 今治市 今治市	直接接 り期待 直接接接 直直接	事業者される効果事業者	省略 工種 省略 工種 計画・調 計画・調	要素となる事業名 要素となる事業名 要素となる事業名 ・ 橋梁長寿命化修繕計画策定 ・ 道路ストック総点検調査等	事業内容 (延長・面積等) 事業内容 修繕計画策定委託 点検及び補修要綱策定業務	市町村名 港湾・地区名 市町村名 今治市(全地域) 今治市(全地域)		事業実 H25	施期間 (H26 合計 合計	(年度) H27 (年度)		1,573 全体事業費 (百万円) 全体事業費 (百万円) 2 115	備:備:	考
関連 号 効果	「社会資本 事業 種別 一体的に 事業 種別 計画・調査	整備事業 地域 種別 実施する 地域 種別 一般	を 交付 対象 5 ことによ 交付 対象 今治市	直接接り期待。直接接接直接	事業者	省略 工種 省略 工種 計画・調	要素となる事業名 要素となる事業名 要素となる事業名 : 橋梁長寿命化修繕計画策定	事業内容 (延長・面積等) 事業内容 修繕計画策定委託	市町村名 港湾・地区名 市町村名 今治市(全地域)		事業実 H25	施期間 (H26 合計 合計	(年度) H27 (年度)		1,573 全体事業費 (百万円) 全体事業費 (百万円)	備:備:	考
男	社会資本 事種別 一体的に 程事業 種別 計画・調査 計画・調査	整備事業 地域 種別 と実施する 地域 種別 一般 一般	を 交付 対象 5ことによ 交付 対象 今治市市 今治市	直接接 直接接接接接接接	事業者	省略 工種 計画:調 計画:調 修繕	要素となる事業名 要素となる事業名 要素となる事業名 ・ 橋梁長寿命化修繕計画策定 ・ 道路ストック総点検調査等	事業内容 (延長・面積等) 事業内容 修繕計画策定委託 点検及び補修要綱策定業務	市町村名 港湾・地区名 市町村名 今治市(全地域) 今治市(全地域)		事業実 H25	施期間(H26 合計 施期間(H26	(年度) H27 (年度)		1,573 全体事業費 (百万円) 全体事業費 (百万円) 2 115	備:備:	考 考
関連	社会資本 事種別 一体的に 程事業 種別 計画・調査 道路	整備事業 地域 種別 上実施する 地域 種別 一般 一般	を 交付 対象 5ことによ 交付 対象 今治市 今治市 今治市	直接接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等) 事業内容 修繕計画策定委託 点検及び補修要綱策定業務 橋梁の撤去	市町村名 港湾・地区名 市町村名 今治市(全地域) 今治市(全地域)	H24	事業実 H25 事業実 H25	施期間(H26 合計 施期間(H26	(年度) H27 (年度) H27	H28	1,573 全体事業費 (百万円) 全体事業費 (百万円) 2 115	備:備:	考
関連 等 数 等 1 2 3 第 5 1	社会資本 事種別 一体的に 程事業 種別 計画・調査 道路 一体的に 子防的な	整備事業 地域別 を実施する 地域別 一般 一般 一般	を 交付 対象 5ことによ 交付 対象 今治市市 今治市市 今治市	直接接接接接接接接接接を架替え	事業者 事業者 事業者 ー ー される効果	省略 工種 計画・調3 計画・調3 修繕	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等) 事業内容 修繕計画策定委託 点検及び補修要綱策定業務 橋梁の撤去 修繕及び架替えに係る費用の縮)	市町村名 港湾・地区名 市町村名 今治市 (全地域) 今治市 (全地域) 今治市 (全地域) がいる。	H24 域の道路終	事業実 H25 事業実 H25	施期間(H26 合計 施期間(H26 合計	(年度) H27 (年度) H27 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	H28	2 (百万円) 全体事業費 (百万円) 2 (百万円) 2 (115) 5 (122)	備:備:	考 考
関連	社会資業 種別 一体的に 促進事業 種別調調 道路 一体的に 予防的な方 震災時等に	整備事業 地域別 種別 一般 一般 一般 一般 一般	を 交付 対象 5ことによ 交付 対治市市 今治市市 今治による が が が の の の の の の の の の の の の の	直接接 間接接接接	事業者	省略工種	要素となる事業名 要素となる事業名 要素となる事業名 橘梁長寿命化修繕計画策定 道路ストック総点検調査等 橘梁撤去事業 るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の セ回避するため、橋梁(2m-5m)、トンネル、道路付属	事業内容 (延長・面積等) 事業内容 修繕計画策定委託 点検及び補修要綱策定業務 橋梁の撤去 修繕及び架替えに係る費用の縮)	市町村名 港湾・地区名 市町村名 今治市 (全地域) 今治市 (全地域) 今治市 (全地域) がいる。	H24 域の道路終	事業実 H25 事業実 H25	施期間(H26 合計 施期間(H26 合計	(年度) H27 (年度) H27 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	H28	2 (百万円) 全体事業費 (百万円) 2 (百万円) 2 (115) 5 (122)	備:備:	考 考
関連 号 効果 分 号	社会資業 種別 一体的に 促進事業 種別調調 道路 一体的に 予防的な方 震災時等に	整備事業 地域別 種別 一般 一般 一般 一般 一般	を 交付 対象 5ことによ 交付 対治市市 今治市市 今治による が が が の の の の の の の の の の の の の	直接接 間接接接接接接接接 で 対替 で ない は かい は	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等) 事業内容 修繕計画策定委託 点検及び補修要綱策定業務 橋梁の撤去 修繕及び架替えに係る費用の縮)	市町村名 港湾・地区名 市町村名 今治市 (全地域) 今治市 (全地域) 今治市 (全地域) がいる。	H24 域の道路終	事業実 H25 事業実 H25	施期間(H26 合計 施期間(H26 合計	(年度) H27 (年度) H27 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	H28	2 (百万円) 全体事業費 (百万円) 2 (百万円) 2 (115) 5 (122)	備:備:	考 考
関連 	社会資本 事種別 一体的に 促進事業 種別 調査 道路 一体的に方 予防的な で 子防的等に 補修を行	整備事業 地域別 (実施する) 地域別 一般 一般 一般 一般 で付属施設で で付属施設で	変 交付 対象 5 ことによ 5 で	直接接	事業者	省略 工種 計画・調 計画・調 修繕	要素となる事業名 要素となる事業名 要素となる事業名 橘梁長寿命化修繕計画策定 道路ストック総点検調査等 橘梁撤去事業 るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の セ回避するため、橋梁(2m-5m)、トンネル、道路付属	事業内容 (延長・面積等) 事業内容 修繕計画策定委託 点検及び補修要綱策定業務 橋梁の撤去 修繕及び架替えに係る費用の縮)	市町村名 港湾・地区名 市町村名 今治市 (全地域) 今治市 (全地域) 今治市 (全地域) がいる。	H24 域の道路終	事業実 H25 事業実 H25	施期間(H26 合計 施期間(H26 合計	(年度) H27 (年度) H27 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	H28	2 (百万円) 全体事業費 (百万円) 2 (百万円) 2 (115) 5 (122)	備:備:	考
関連 号 効果 号 233 社会	社会資本 事種別 一体的に 促進事業 種別 調査 道路 一体的に方 予防的な で 子防的等に 補修を行	整備事業 地域別 (実施する) 地域別 一般 一般 一般 一般 で付属施設で で付属施設で	を 交付 対象 5ことによ 交付 対治市市 今治市市 今治による が が が の の の の の の の の の の の の の	直接接	事業者	省略 工種 計画・調 計画・調 診繕	要素となる事業名 要素となる事業名 要素となる事業名 橘梁長寿命化修繕計画策定 道路ストック総点検調査等 橘梁撤去事業 るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の セ回避するため、橋梁(2m-5m)、トンネル、道路付属	事業内容 (延長・面積等) 事業内容 修繕計画策定委託 点検及び補修要綱策定業務 橋梁の撤去 修繕及び架替えに係る費用の縮)	市町村名 港湾・地区名 市町村名 今治市(全地域) 今治市(全地域) 今治市(全地域) 域を図りつつ、地域業務をおこなうととも	H24 域の道路終	事業実 H25 事業実 H25	施期間(H26 合計 施期間(H26 合計	(年度) H27 (年度) H27 サを確保	H28	2 (百万円) 全体事業費 (百万円) 2 (百万円) 2 (115) 5 (122)	備:備:	考 考
関連 号 効果 号	社会資業 種別 一体的に 「企進事業別 「計画・調査 」 「当画・調査 」 「本的に 「本的に 「ないのでである。」 「本ののである。」 「本のである。」 「本のである。」 「本のである。」 「本のである。」 「本のである。」 「ないのである。」 「ないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのでは	整備事業 地種別 生実施する 地域 種別 一般 一般 一般 でも に で で に で に で に で に の に の に の に の に の に	を 交付 対象 5 ことによ	直間接接接接接接接接接接接接接接接接接接接接接接接接接接接接接接	事業者	省略 工種 計画・調 計画・調 修繕	要素となる事業名 要素となる事業名 「橋梁長寿命化修繕計画策定 道路ストック総点検調査等 橋梁撤去事業 るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の とを回避するため、橋梁(2m-5m)、トンネル、道路付属 維持管理経費の節減を図る。	事業内容 (延長・面積等) 事業内容 修繕計画策定委託 点検及び補修要綱策定業務 橋梁の撤去 修繕及び架替えに係る費用の縮記 施設(照明灯、標識、横断歩道橋)の点検	市町村名 港湾・地区名 市町村名 今治市 (全地域) 今治市 (全地域) 今治市 (全地域) がいる。	H24 域の道路終	事業実 H25 事業実 H25	施期間(H26 合計 施期間(H26 合計 生・信頼性 や補修方法	(年度) H27 (年度) H27 サを確保	H28	1,573 全体事業費 (百万円) 全体事業費 (百万円) 2 115 5 122	備。備。	考 考 考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

- ・歩行者や自転車の安全安心の確保を必要とする道路については、道路空間の再編やバリアフリーに取り組み、歩行者や自転車の安全安心の向上が図られた。
- ・道路ストック総点検により確認された損傷度の大きい部材をメインに補修を実施することとしていた。詳細調査の結果、橋梁については補修対応よりも架け替えをしたほうが初期投資は大きいが将来にわたる維持コスト(LCC)が削減されることから、架け替えを実施した。この結果、長期的な視点での老朽化対策が図られた。

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標①(歩行 者、自転車ネッ	最終目標値	100.0%	目標値と実績値	当初本計画期間で予定していた延長L=5.31kmをすべて完了させ、今治駅西側線(今治市交通バリアフリー基本構想の 準特定路線)において次期5ヵ年計画で実施予定箇所を前倒しで実施したことにより実績延長L=5.37kmとなり、目標以					
トワーク整備 率)	最終実績値	101.1%	に差が出た要因	平付た路線)において次列3分平計画で美施子を固角を削倒して美施したことにより美積延校L-3.31kmとなり、日標が上の成果となった。					
指標②(対策液 橋梁(2m-5m)数		100.0%	目標値と実績値	要対策橋梁37橋のうち、19橋について対策を完了した。詳細調査の結果、補修よりも架け替えの方が将来にわたる維持管理コストの低減につながるものがあり、補修工法の見直しによる対策費増により、予定数を下回る結果となっ					
増加)	最終実績値	51.4%	に差が出た要因	た。未対策橋梁については次期5ヵ年計画でも実施予定であるが、当面点検頻度を多くすることで対応する。					
指標③(対策液 トンネル数の境		100.0%	目標値と実績値	要対策トンネル4基のうち、2基について対策を完了した。他施設(5m以上橋梁)の損傷度合いが大きいことから限られた事業費を優先的に配分せざる得なかったため、予定数を下回る結果となった。未対策トンネルについては次期5ヵ年計画でも実施予定であるが、当面点検頻度を多くすることで対応する。					
加)	最終実績値	50.0%	に差が出た要因						
指標④(対策液 道路付属施設数		100.0%	目標値と実績値	要対策道路付属施設49基のうち、47基について対策を完了した。詳細調査の結果、横断歩道橋で対策費用が増とな					
の増加)	最終実績値	95. 9%	に差が出た要因	り、予定数を若干下回ったが、概ね目標は達成できた。					
指標⑤(市道 (1,2級市道		62. 12%	目標値と実績値						
除く)の改良率 の増加)	最終実績値	62. 12%	に差が出た要因						

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

限られた事業費で、より優先順位の高い事業に配分し、橋梁全体として老朽化対策が図られた。また学校線整備による国道と県道のアクセス時間短縮や、地元から長年要望のあった品部本線の整備など、今回の道路整備による周辺住民の利便性や満足度は向上したものと思われる。

3. 特記事項(今後の方針等)

未補修の施設については、点検頻度を高くするなど、引き続き適切な維持管理に努めたい。また、長寿命化修繕計画が未策定となっているトンネル及び歩道橋について、長寿命化修繕計画を策定することにより、LCCや修繕コスト の平準化を図り、より計画的な老朽化対策に取り組みたい。また計画策定時の数値目標におけるアウトカム指標については、適切な設定が難しいものの、引き続き検討していく。